



カール・バルトとエキクメニズム

一つなる教会への途

◆A5判・270頁・本体3500円

佐藤司郎 著 (さとう・しろう氏は日本基督教団北三番丁教会牧師、東北学院大学名誉教授)

3月25日発売

弁証法神学時代からドイツ教会闘争、戦後冷戦期、そして晩年にいたる長い神学的展開において、エキクメニズムに対するバルトの姿勢はいかに変化したのか。バルト神学の根本的なモチーフがテキストの綿密な読み込みを通して明らかとなる。本書は、類書に乏しいこのテーマにおける貴重な貢献となるだろう。

▼関連書

佐藤司郎著 カール・バルトの教会論 旅する神の民

◆A5判・416頁・本体5500円

統^すべるもの／叛^{そむ}くもの

統治とキリスト教の異同をめぐって

◆四六判・216頁・本体2200円

新教出版社編集部 編

統治の原型、反逆の力能

3月25日発売

『福音と世界』の特集記事より、統治とキリスト教の関係に、ジェンダー／セクシュアリティ／クイアやアナキーといった視点から切り込む六本の原稿を精選。統治に与しながら、まつろわず生きる者の拠点ともなってきたキリスト教、その歴史と思想に内在するアンチノミーに挑む。気鋭の執筆陣による白熱のトークセッションも収録。執筆者Ⅱ佐々木裕子・堀江有里・要友紀子・白石嘉治・栗原康・五井健太郎

ヤス・パースとキリスト教

二〇世紀ドイツ語圏のプロテスタント思想史において

岡田 聡 著

◆四六判・222頁・本体2500円



テイルリツヒ、H・バルト、K・バルトラとの折衝を通して明らかにする。

おかだ・さとし氏は1981年生まれ。早稲田大学大学院、トリアア大学等で学ぶ。博士(文学)。立教大学兼任講師、国士舘大学、玉川大学、大東文化大学非常勤講師。日本ヤス・パース協会理事、実存思想協会幹事。

▼関連書

笠井恵二著 二十世紀神学の形成者たち

◆四六判・306頁・本体3106円

ハインツ・ツァールント著

20世紀のプロテスタント神学 上・下

バルト神学、「史的イエス」問題の衝撃、さらには世俗化論、エキユメニズム等を描き出した大著 ◆B6判・本体上2800円、下2500円

●新しい教科書

ヤバいぜ！ 聖書

あなたに贈る40のメッセージ

明治学院テキスト作成委員会編 B5判・100頁・本体1000円

旧約聖書と新約聖書から20ずつテキストをとりあげて解説、私たちの生き方を考える。明治学院教育ビジョンの一つである「キリスト教に基づく人格教育の発展」のために、中高大で共通して使えるテキストとして作られた。

執筆：今村栄児（明治学院中学・東村山高校教諭）、植木献（明治学院大学准教授）、北川普也（明治学院牧師）、小暮修也（明治学院学院長）、佐原光児（明治学院高校教諭）



関口安義著

評伝 矢内原忠雄

新渡戸・内村の薫陶を受け、伝道を志しつつ、経済学者として優れた業績を上げ、軍国日本と対決して野に退き、戦後は東大総長として再建日本の精神的指導に挺身した無教会キリスト者の生涯を、綿密な調査を基に描きあげた1100枚の大作。

◆A5判・予価8000円

教皇フランシスコ／ドミニック・ヴォルトン著

橋をつくるために

現代世界の諸問題をめぐる対話

現代世界が直面する喫緊の課題、すなわち戦争、貧困、環境、難民、伝統、教会、文化的アイデンティティ、コミュニケーションのあり方等をめぐり、フランスの著名な社会学者による、1年間12回に及ぶインタビューに教皇が答えた稀有な対話の全記録。

◆四六判・予価3600円

山下壮起著

ヒップホップ・レザレクション

ヒップホップとキリスト教 今や世界的大衆文化となったヒップホップ。その最初の担い手であったアフリカ系アメリカ人における宗教的機能を探り、ヒップホップと既存のキリスト教会との関係や聖俗観・救済観を検討する。気鋭の神学者による注目作。

◆A5変型判・予価3200円

●2月に出版の本と雑誌

今を生きる滝沢克己

滝沢克己協会編 生誕110周年記念論集

滝沢は独自のインマヌエル思想を唱え、その影響は国内はもとより海外にも及んだ。一六人の論者が多様な視点からその思想の全貌に迫り、継承の方途を追求。

◆四六判・本体3200円

希望する力

佐原光児著 生き方を問う聖書

虚無や諦めを乗り越えさせるものが希望だ。だが希望にも訓練が必要である。本書は「希望する力」を鍛える一助として書かれた。

◆A5判・本体1300円

新たな約束

後藤田典子著 新約聖書に学ぶ神の招き

長年教鞭をとってきた著者の経験を存分に生かした新約入門。単なる知識の教授でなく、新たな価値観に基づく生き方を共に考える。

◆A5判・本体900円

福音と世界

◆税込635円

3月号 〈核の時代〉はいま

寄稿者：木村朗、高橋博子、片岡輝美、和田喜彦、相原太郎

佐藤信行、太田昌国、川田殖／森宣雄、岡映里、

松本あずさ、長谷川修一、三島有紀子、山口政隆、

内田樹、芦名定道、辻学、佐藤優

編集部から

●昨年、新宿の書店「模索舎」さんと共催したトークセッション「統べるもの／叛くもの——統治とキリスト教の異同をめぐって」の内容が、各登壇者の論考とあわせていよいよ書籍化されます。クイアやアナキズムなど多角的な視座からキリスト教へと切りこむクリティカルな一冊ですが、ときには各論考のあいだに矛盾が感じられるかもしれません。それは、構成上の必然というだけでなく、あらたな問いをひらく手がかりなのではないでしょうか。わたし自身は、キリスト教にもジェンダー／セクシユアリティ／クイアにもアナキズムにも多くを負って、人生を歩んできました。その意味で、さらなる問いをたてることはみずからの責任事だと感じていますし、みなさんにもぜひ、同書を手にとって考えていただきたいと思っています。

●ところで、『福音と世界』ではこの3月にも東京・新宿でトークイベントを開催します。インフォショップの「イレギュラー・リズム・アサイラム」さんと共催のもと、新連載執筆者のマニユエル・ヤンさんをむかえておおいに聞く一夜。ウェブにも情報はアップされていますので、ぜひご注目＆ご来場を！（堀）

日時 3月15日（金）19—21時「パビロンの路上」で Conferences of a Son of a Preacher Man / 語り手 マニユエル・ヤン、聞き手 有住航 / 場所 イレギュラー・リズム・アサイラム / 参加費 投げ銭+1ドリンク

●先日、浜矩子さんと福岡揚さんの対談「金と神——経済学と神学の対話」を聴く機会がありました。とても良い会で考えるヒントをたくさんもらえましたが、特に経済に「成長」は絶対必要というドグマが単なる思い込みにすぎないこと、「成長・競争・分配」の三者を、人が人らしく生きられる「ケアリング・シエラ社会」のためにバランスさせることこそ最重要だと教えられました。（小林）

長期アルバイト募集

資格：週3日以上勤められる方。
待遇：時給1000円から。
交通費全額支給。
勤務：午前10時～午後5時
（土・日・祝日は休み）
仕事：商品の物流管理と販促関連。
応募者は履歴書を送ってください。
（表にアルバイト応募と朱書してください。）
書類選考後、面接日を通知します。
162-0814 東京都新宿区新小川町9-1
新教出版社 Tel 03-3260-6148

福音と世界

2019年
4

特集・人類学とキリスト教

A5判・80頁・定価635円・送料70円
年間予約購読料（送料共）8460円

ファイルドワーカーとしてのイエス

—— 預言者的精神の現在 ——

佐藤壮広

共同体の畔に佇む

—— 自文化研究の身振りとして —— 前高西馬

「フェミニスト」として人類学すること

川橋範子

考える、生きる——『森は考える』と人類学の

これから—— 奥野克巳

「コロワアド」—— 管啓次郎

〈報告〉第3回「在日・日本・韓国 女性神学
フォーラム」…… 堀江有里

【新連載】

パビロンの路上で…… マニユエル・ヤン

神の酒…… 石井光太

【好評連載から】

◆新約釈義 テトス書 1 …… 辻 学

◆福音書記者の饗宴 4 …… 松本あずさ

◆遺跡が語る聖書の世界 4 …… 長谷川修一

◆わたしはロックがわからない 7 …… 山口政隆

◆福音の地下水脈 18 …… 谷崎榴美

◆現代神学の冒険 31 …… 岩名定道

◆レヴィナスの時間論 48 …… 内田 樹